



Bathroom Planning Guide

「シンプルにしたい」「ホテルのようなバスルームにしたい」とバスルーム空間に求めるテイストもいろいろ。また、同じデザインのパスタブでもおさめ方次第でぐっと雰囲気が変わります。こちらのガイドでは、バスルームのイメージ作りのヒントになるよう、いろいろなパターンの事例をまとめました。ぜひ自由な発想で、お客様にとっての理想のバスルーム空間を完成していただければと思います。

Bathroom Planning

デッキ（平場）を設けてゆとりが感じられるバスルームに



特徴・設置方法

バスタブの周囲に天然石やタイルで仕上げたデッキ（平場）があるプラン

メリット

- ・ 重厚感や華やかさがある、ゆとりが感じられる。
- ・ バスタブのフォルム（特に角がとれたオーバル型）が映える。
- ・ 平場にデッキ付水栓を設置したり、バスタブへの出入り時に腰かけたりすることができる。

デメリット

- ・ スペースに対してバスタブが小さくなる。希望するバスタブサイズに、デッキの幅を加えたスペースが必要。
- ・ デッキ部分に水が残りやすく、汚れや水垢、カビなどの原因となりやすい。

Bathroom Planning

デッキ（平場）を設けてゆとりが感じられるバスルームに

1. バスタブのフォルムを楽しむ

バスタブを御影石の中に埋め込むことで、オーバルのエレガントなフォルムが映え、華やかな雰囲気演出。黒と白のコントラストも印象的で、一流ホテルならではの高級感が感じられるバスルームです。



2. 天然石の質感を楽しむ

白河石を床と腰壁、バスタブの立ち上がりに用いて和テイストに。白河石の上品な質感が、ホーローの艶やかさにバランスよくフィットしています。品格漂う落ち着いたバスルームです。



3. デッキ付水栓を設置

デッキがあれば、水栓を設置したり小物を置くことができます。デッキ付水栓は壁付タイプとは違い、引き出し式のハンドシャワーが一般的で、ホースが収納されるため視覚的にすっきりとします。

Bathroom Planning

バスタブのジャストサイズで、スタイリッシュ & コンパクト



特徴・設置方法

バスタブの周りにタイルや天然石のデッキ（平場）をとらずに、立ち上がり面（エプロン部分）をバスタブと合わせて設置。

メリット

- ・バスルームの壁内寸法いっぱいのサイズまでバスタブを大きくすることができる。また、洗い場スペースも確保できる。
- ・水が残しやすいデッキ（平場）をなくすことで、お手入れがしやすくなる。
- ・シンプルでモダンなデザインバスルームにマッチする。

デメリット

- ・シンプルですっきり見えるが、一方で華やかさや重厚感には欠ける。
- ・バスタブにもたれかかるときに、頭が壁に当たり、それが気になってしまうケースも。

Bathroom Planning

バスバブのジャストサイズで、スタイリッシュ & コンパクト

1. バスタブサイズを大きく

三方が壁に囲まれた部分にバスバブをぴったりとおさめています。
デッキをなくせば、バスバブを大きくすることができ、
足を伸ばしてゆったりと入浴できます。



2. すっきりとコンパクトに

バスバブ周りのデッキを無くし、洗い場スペースを確保しました。
スペースが限られている一般的な日本の浴室には、
このようなバスバブの収め方がおすすめ。
デッキ部分のお掃除の手間も省け、お手入れもしやすくなります。

3. フリースタンド型のように

バスバブとエプロンの面を合わせると、バスバブのフォルムが映え、
まるでフリースタンド型のように見受けられます。
こちらのバスルームはインナーテラスに面していて、
テラス側からもバスバブが美しく見えるようにおさめています。



Bathroom Planning

天然石をかぶせ重厚感を高める



特徴・設置方法

バスタブの縁（フランジ）を天然石で覆い、浴槽内部のみが見えるようにおさめる。

メリット

- ・ 重厚感や高級感がアップ。実際に高級ホテルでは定番的に用いられるおさめ方。
- ・ 天然石の素材感を楽しむことができる。
- ・ バスタブの深さを多少なりともかせぐことができる。

デメリット

- ・ 施工コストがかかる。
- ・ 天然石をバスタブ形状に合わせてカットするなど、加工やおさめ方が難しい。

Bathroom Planning

天然石をかぶせ重厚感を高める

1. 一流ホテルならではのプラン

洗面カウンターと同じ御影石をバスタブの縁に被せ、
圧倒的な高級感、重厚感を演出しています。
一流ホテルの最高級ゲストルームにふさわしいバスルームです。



2. 空間との一体感

バスタブをバスルーム空間に馴染ませるように、壁と同じ仕上で
エプロンおよびフランジを覆いました。
バスタブと空間との一体感が生まれ、落ち着いたベージュの色合いが
エレガントなバスルームを演出しています。

3. 天然石の質感を楽しむ

木立に囲まれたセカンドハウスのバスルーム。
日常を忘れ心身の疲れが癒されるよう、落ち着いたバスルームに。
白河石の上品なテクスチャーとホーローバスタブの艶やかさが
見事に調和しています。



Bathroom Planning

バスタブの立ち上がりを低く抑える



特徴・設置方法

バスタブをある程度床に埋め込み、立ち上がり部分を低く抑える。

メリット

- ・空間におけるバスタブのボリュームを抑えることができ、空間になじみやすい。
- ・立ち上がり部分は低いため、またぎ動作で脚を上げる量が少なく済むので、またぎやすい。

デメリット

- ・洗い場からバスタブ底面へ下に降りることになり、不安感を感じやすい。
- ・バスタブに入る際のまたぎ寸法は小さくなっていても、出る際のまたぎ寸法はバスタブの深さのままとなる。
- ・バスタブの上面が低くなっている分、若干、シャワー時の水撥ねなどがバスタブに入りやすい。

Bathroom Planning

バスタブの立ち上がりを低く抑える

1. 空間の広がり演出

バスタブの立ち上がりが洗面所までつながったプラン。
立ち上がりの高さを抑えることで、
バスルーム全体が開放感あふれる空間となりました。



2. 黒と白のカラーコントラストを楽しむ

黒のボーダータイルが印象的なバスルーム。
排水口のグレーチングとの組み合わせも効いています。
テレビ付きで、のんびりとバスタイムを過ごすことができます。



3. 開口部とのつながり

テラスに面したバスルーム。
床をテラスと同じデッキ貼りとし、
屋外のような開放感あふれる空間を実現。
ガラス窓とおさまりのため、バスタブを半分埋め込みました。

Bathroom Planning

空間に溶け込むバスタブ



特徴・設置方法

バスタブ全体を埋め込んで、床面とバスタブの縁をほぼ同じ面にする。

メリット

- ・バスタブの存在感が消え建築と一体化し、空間としての完成度が高まる。
- ・バスタブに入った時の景色の見え方や視界の広がりを意図することができる。
- ・バスルーム空間が視覚的に広く感じられる。

デメリット

- ・40cm～50cmほどの深さのバスタブに水を張った状態で、洗い場から底面に足をおろす形となるため、高齢者などの方でなくとも不安感を感じやすい。サポートバーなどの併用が望ましい。
- ・バスタブのすぐ横が洗い場の場合、シャワーなどの泡や洗い流す時の湯水がバスタブの中に入りやすい。
- ・配管を含めると、フロアレベルから下に60cm～70cmほどのスペースが必要となり、2階など上部階では階下への影響が大きく、プランの工夫が必要。

Bathroom Planning

空間に溶け込むバスタブ

1. 空間としての完成度を高める

建築のコンセプトを最優先に、バスタブを埋め込んで空間に一体化させました。バスタブに入った時の視界が低くなることで景色を思う存分楽しむことができ、非日常的な感覚を味わえます。セカンドハウスならではのプランです。



2. 空を眺めるためのバスルーム

ウッドデッキがバスルームからテラスまで続いた、アウトドア感覚の開放的なバスルーム。空を眺めながら贅沢なバスタイムを楽しむことができます。シャワースペースはバスタブから離れた位置に設け、シャワー時の湯水がバスタブに入らないよう配慮されています。

3. 開口部とのつながり

テラスに面したバスルーム。掃き出し窓とバスタブが隣接しているため、テラスへの出入りを考慮して、バスタブを床に埋め込みました。



Bathroom Planning

ラグジュアリーなフリースタンド型バスタブ



特徴・設置方法

据え置き型のバスタブで、エプロンなどの立ち上がりが不要。

メリット

- ・デザイン性の高いものが多い。
- ・バスタブ自体に華やかさがあり、高級感のあるバスルームを演出。
- ・オブジェのような存在感があるため、シンプルなバスルームに置くだけでも華やかな空間演出が出来る。

デメリット

- ・バスタブ自体の価格が高い。
- ・四方に空間がある状態で設置するのが望ましく、ゆとりのある広いスペースが必要。
- ・ドライバスが基本のため、日本の一般的な浴室プラン（バスタブの横が洗い場）には不向き。

Bathroom Planning

ラグジュアリーなフリースタンド型バスタブ

1. 最高級のバスルームを演出

フリースタンド型はその完成されたフォルムで
圧倒的な存在感を放ちます。
五つ星ホテルの最高級客室のバスルームに
ふさわしい華やかなバスタブです。



2. シンプルな空間にシンボリックなバスタブ

ミニマルな空間にバスタブがオブジェのように映えます。
奥にはシャワーブースがあり、
体を洗う場所とリラックスする場所を分けました。
バスタブ横には床付シャワー水栓を設け、湯はりはもちろん、
ハンドシャワーでバスタブまわりの掃除ができるよう配慮されています。

3. テラスのあるビューバス

マットな質感のブラックカラーが印象的なバスルーム。
テラスとその先に広がる都会の景色を眺めながら
優雅にバスタイムを楽しむことができます。



Bathroom Planning

カジュアルにフリースタンド型バスタブを楽しむ



特徴・設置方法

バスタブをそのまま設置。いわゆる猫足タイプのものやフレーム型の脚タイプなどがある。

メリット

- ・タイルや天然石の立ち上がりが不要のため、施工コストが抑えられる。
- ・デザイン的なインパクトがあるので、デザイン系集合住宅などにもよく使われる。
- ・撤去や入れ替えが簡単。

デメリット

- ・埋め込み式バスタブに比べ、バスタブの裏面やバスタブ下の床面、隣接する壁面など汚れる場所が増えるため、掃除にかかる手間が増す。
- ・さらに、バスタブの裏面やバスタブ下の床面、隣接する壁面などは掃除のしにくい場所となる。
- ・原則追焚給湯器には対応していない。追焚機能を付けても、むきだしの配管に汚れが付着してしまう。

Bathroom Planning

カジュアルにフリースタンド型バスタブを楽しむ

1. スタイリッシュなバスルームに

スタイリッシュなコンクリート打放しの浴室にシンプルなホーローバスタブをオブジェのように設置。フレーム型の脚がさらに個性的なバスルームを演出しています。



2. ラフに使いこなす

納屋のような質素な佇まいのセカンドハウスのバスルーム。ラフなコンクリートの土間にフリースタンド型を設置しました。バスタブ周辺には人が立ち回れるスペースがあるので、清掃性も考慮されています。



3. 猫足バスタブで欧米スタイル

猫足タイプのバスタブを集合住宅の各戸に設置しました。バスタブ内でシャワーを浴びる欧米スタイルはスペースをコンパクトにできるので、集合住宅におすすめです。

Bathroom Planning

「洗う」「湯に浸かる」をバスタブ内で



特徴・設置方法

バスタブ内でシャワーを浴び、洗い場とバスタブを兼用。シティホテルや一部コンパクトな集合住宅に見受けられる。

メリット

- ・ 洗い場とバスタブをひとつにまとめることで、浴室エリアをコンパクトにすることができる。
- ・ また、その分バスタブのサイズを大きくすることができる。
- ・ 掃除をする範囲が少なく済む。

デメリット

- ・ バスタブはオーバーフローが原則で、湯を溢れさせないようにする必要がある。
- ・ 一般的に日本人には馴染みが薄く、取り入れにくい。

Bathroom Planning

「洗う」「湯に浸かる」をバスタブ内で

1. スリーインワンのバスルーム

バスタブ、トイレ、洗面がひとつの空間にまとまった、「スリーインワン」タイプのバスルーム。すべてをオープンにつなげることで開放感のある水廻りとなります。



2. 洗い場を無くしバスタブを大きく

マンションのためスペースに制限があるため、思い切って洗い場を無くし、その分バスタブを 170cm と大きくしました。「平日はシャワーだけ、でも週末はゆっくりとバスタブに浸かりたい」という施主様のライフスタイルにふさわしいバスルームです。



3. バスルームをコンパクトに

バスタブ内でシャワーを浴びるようにすれば、バスルームがコンパクトになります。一人暮らしや DINKS 向けの集合住宅におすすめです。

Bathroom Planning

洗い場を間仕切る



特徴・設置方法

洗い場をシャワーブースとして設け、個室もしくは間仕切りでバスタブと分ける。

メリット

- ・体を洗い流す場所（シャワーブース）とリラックスする場所（バスタブ）を分けることができる。
- ・バスタブをドライバスとすることができ、フリースタンド型など選択のバリエーションが増える。
- ・掃除をする範囲を分けることができる。（シャワーで済ます場合は、シャワーブースだけの掃除で済む）

デメリット

- ・シャワーブースは、スペースがコンパクトなことが多く、基本的には立ってシャワーを浴びるため、座って体を洗う習慣の方、また小さなお子様がいる家庭には不向き。
- ・一般的に日本人には馴染みが薄く、受け入れにくい。

Bathroom Planning

洗い場を間仕切る

1. スリーインワンで開放感を演出

洗面、トイレ、バスルームをひとつの空間にまとめました。
シャワーブースにはガラスの間仕切りを設け、
周囲への水撥ねをガードしています。



2. ガラス張りのシャワールーム

扉付きのシャワールームを設け、体や髪を思いっきり洗い流すことができます。
バスタブとシャワーブースを横並びに配置することで、
一般的な矩形のバスルームよりもコンパクトにおさめました。
スペースが限られる狭小住宅や集合住宅などにおすすめです。



3. 高級ホテルの定番プランニング

グレードの高いホテル客室では、
バスタブとは別にシャワーブースを設けていることが一般的。
まず身体を洗い流してリフレッシュし、
バスタブで窓の外の夜景を楽しみながらゆったりとリラックス
という至福のバスタイムを演出します。